

◇ 部長から一言 ◇



季節の行事も満喫

部員は男女の仲が良く、元気な人が多いです。それぞれ食や芸術人などから、海外に興味を持ち入部しています。僕は科学部に所属していますが、CBC部には他にも兼部している部員がいて、個性を尊重しながら、自由度が高く続けやすい部活です。

ハロウィンやクリスマスには、部室を飾り付けて、日本語と英語を交えながらボードゲームをしたりと楽しいイベントもありますよ。

僕自身、海外に旅行して英語を話したいという夢があります。会話だけでなく、相づちなどの「使える」コミュニケーション能力を、部活動を通じて身に付けたいです。

8月末に部長になりました。昨年度まで英語部だったこともあって英語が中心だったので、他の国の言葉も覚えられる活動ができればと思っています。

市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)
市立観光ガイド(必修)



英語でのガイドに向けて発音練習する部員たち＝8月25日、能代市の能代松陽高

米姉妹校へ語学研修

能代松陽高校では毎年20人程度が、米イリノイ州シカゴにある姉妹校、オークパーク・アンド・リバーフォレスト高校に約2週間語学研修する。8月まで在部していた3年生6人全員が研修を経験。現地での生活は、CBC部の活動テーマの一つである「文化を知り、多角的に物事を見る」経験になった。

LGBTQ (性的少数者)



オークパーク・アンド・リバーフォレスト高校の玄関にあった拳銃持ち込み禁止の掲示(能代松陽高提供)

文化の違い感じ衝撃



語学研修を終えて記念撮影するオークパーク・アンド・リバーフォレスト高校と能代松陽高校の生徒＝2月、米シカゴ・オヘア空港(能代松陽高提供)

者)の権利などに関心の高い米国。シカゴの高校で3年生6人が初めて衝撃を受けたのが、学校が性の多様性を認め、受け入れている点だ。同性愛者やトランスジェンダーであることを公表している生徒がいることや、体育の授業での着替えでも配慮があった。

校内には「拳銃持ち込み禁止」の掲示があり、銃社会であることも実感。教室の扉は侵入者を防ぐために鍵がかけられ、外側から開けられないよう

多言語学び広がる視野

「This is the museum sketball museum」。



能代松陽高CBC部



高、能代北高時代から英語部を引き継いだが、英語以外にも韓国語やロシア語、中国語が学べるのもあり、本年度変更した。

英語とロシア語を教える常勤講師のミハイロワ・アナタさん(ロシア出身)は、部員たちに向き合う術として「日本に多いシャイな性格を克服し、まず外国語を出してもらうことからスタートします」と話す。